

平成 25 年度生涯学習振興・社会教育関係職員等研修【学習プログラム研修】

グループ演習の支援に関する留意事項

1 グループ演習支援者の役割

研修を通して、参加者が学習プログラム開発の知識・技能を身に付けることができるように、グループのメンバーと一緒に考え、一人一人の気づきを促し、グループ演習が円滑に進むように支援します。

- 参加者が研修の趣旨に沿って演習を進めることができるように導き、外れそうな場合は方向を修正します。
 - 設定時間内に、指示された作業が進むように促します。
 - メンバー全員が、平等に意見を出し合えるように促します。
 - お互いに、批判しない、意見を押し付けないよう配慮し、傾聴の姿勢を大切にします。
 - 演習を通して生じる参加者の悩みや葛藤に共感を持って対応します。
 - 講師と受講者の橋渡し役になります。
 - メンバー間のネットワークづくりを支援します。
 - 求めに応じて、これまでの業務上での経験等をもとにアドバイスします。
 - 困ったときは、講師やスタッフへ相談してください。
- 時間を有効に活用し、休憩時間等でも、実際の現場での課題意識や業務を進める上で大切にしていることややりがい等を会話の中に出すなどして、「一緒に研修を作っていこう」という意識を盛り上げていってください。

2 演習の進め方

- グループごとに設定したテーマに沿って、学習プログラムを作成し、発表します。
- 学習プログラム開発の理論や手法については、講師が講義を行います。
- 第3回の午後からは、事業評価について、講義・演習を行います。
- 詳細については、別紙「研修計画」を参照してください。

3 その他

各回とも、昼食時間及び研修終了後に、打合せの時間を持たせていただきますので、御了承ください。